レジメン名		略名	1クールの日数
アミバンタマブ(SC)＋ラゼルチニブ			28
適応病名	EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	所要時間	5分
実施部署	■外来、■病棟、□その他(　　)	放射線療法	■なし、□あり
適応分類	■初発、■進行・再発、□術後補助、□術前補助、□超大量、□遺伝子、□その他(　　)		
適応時表示コメント	□なし、■あり	添付資料	□なし、■あり
臨床使用分類	■治療（エビデンスレベル　□1　■2　□3　□4　□5　） □研究(□多施設自主研究、□単施設自主研究、□市販後臨床試験、□治験、□その他		
エビデンス	□ガイドライン、■文献、□その他		
ガイドライン文献名	Natasha B. Leighl et al. Subcutaneous Versus Intravenous Amivantamab, Both in Combination With Lazertinib, in Refractory Epidermal Growth Factor Receptor Mutated Non–Small Cell Lung Cancer: Primary Results From the Phase III PALOMA-3 Study. J Clin Oncol 42, 3593-3605(2024). DOI:10.1200/JCO.24.01001		

番号	抗癌剤名(商品名)・略号	1日投与量	投与法	投与日(d1,d8等)
1	アミバンタマブ（リブロファズ）	80kg未満:1600mg/body 80kg以上:2240mg/body	皮下	1サイクル目:day1,8,15,22 2サイクル目以降:day1,15
2	ラゼルチニブ（ラズクルーズ）	240mg/body	経口	連日
3				
4				
5				
6				
7				

その他(減量・増量規定など)	前投薬として副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤（650～1000mg）、H2受容体拮抗剤　また注射（制吐目的）とは別にIRR予防として1サイクル目day1の2日前からday1朝までデカドロン錠8mg/回　1日2回内服抗凝固療法として開始後4か月間はアビキサバン錠1回2.5mg1日2回の経口投与が必要

Rp 医薬品名	投与量	投与ルート	点滴時間・速度
① リブロファズ配合皮下注 ＊経口前投薬あり	規定量 80kg未満：1600mg 80kg以上：2240mg	皮下	5分